

滋賀県森林センターの概要

平成21年度

滋 賀 県 森 林 セ ン タ ー

〒520-2321 滋賀県野洲市北桜978-95

TEL 077-587-2655

FAX 077-587-6527

E-mail dj36@pref.shiga.lg.jp

目 次

1 . 沿革	1
2 . 予算	1
3 . 組織	1
4 . 施設	2
5 . 試験研究	3
6 . 事業の概要	5
7 . 研修事業の概要	5
8 . おもな研究用機器	5
9 . 森林センター施設配置図	6

4 . 施設

(1)土地

ア 所有地

区 分	地 番	面 積
森 林 セ ン タ ー	野洲市北櫻978番地の95 ほか1筆	21,493㎡
油 日 林 木 育 種 場	甲賀市甲賀町油日2214番地の42 ほか48筆	162,661㎡
湖 北 林 業 苗 圃	米原市市場1番地 ほか111筆	68,538㎡
計		252,692㎡

イ 借地

区 分	用 途	所 有 者	面 積	借 用 期 間
太神山国有林試験地	量水堰等の設置	滋賀森林管理署	413㎡	H21.4.1 ~ H24.3.31

(2)建物

名称	構造	建面積(㎡)	延面積(㎡)	使用開始
【森林センター】			1,519.94	
本館	鉄筋コンクリート造2階建	394.61	986.41	S47.11.11
車庫及び材料倉庫	鉄骨造鋼板葺平屋建	210.00	210.00	S47.11.11
種子乾燥庫	鉄骨造鋼板葺平屋建	84.00	84.00	S55. 1.10
プロパンボンベ庫	鉄筋コンクリート造スレート葺平屋建	5.13	5.13	S47.11.11
森林実習館	木造セメント板葺平屋建	234.40	234.40	H 7. 2.24
【湖北林業苗圃場】		319.38	319.38	
本館	木造亜鉛鉄板葺平屋建	57.90	57.90	S34.11.30
事務所棟	鉄骨造アスファルト葺平屋建	40.50	40.50	S49. 7.22
倉庫	木造波板トタン葺平屋建	75.86	75.86	S24. 3.31
機械倉庫	鉄骨造スレート葺平屋建	60.00	60.00	S46. 9.10
堆肥舎	木造コンクリート瓦葺平屋建	42.97	42.97	S28. 3.31
ポンプ・肥料庫	鉄骨造スレート葺平屋建	42.15	42.15	S49. 7.22
【油日林木育種場】		508.58	508.58	
作業室兼資材倉庫	鉄骨造スレート葺平屋建	97.62	97.62	S43. 3. 9
事務所	コンクリートブロック造平屋建	83.00	83.00	S39. 3.30
作業員休憩室	コンクリートブロック造平屋建	79.20	79.20	S39. 9.13
ガラス屋	鉄骨ガラス造平屋建	66.50	66.50	S39. 9.13
種子乾燥室	鉄骨造トタン葺平屋建	63.80	63.80	S48. 3.31
倉庫	コンクリートブロック造平屋建	48.18	48.18	S39. 9.13
倉庫兼作業員休憩室	木造トタン葺平屋建	26.44	26.44	S41. 1.22
ポンプ室	コンクリートブロック造平屋建	22.04	22.04	S38. 3.31
堆肥舎	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	21.80	21.80	S38. 3.31

5 . 試験研究

(1)基本方針

多様化する県民の森林に対する要請に応えるための研究を推進し、県林政の発展に資する。

(2)重点目標

琵琶湖森林づくり基本計画の基本施策である「環境に配慮した森林づくりの推進」に資するため、次の項目を重点目標として掲げる。

- 多面的機能を発揮させる森林管理の推進
- 人工林の特性に配慮した森林整備の推進
- 天然林の保全管理の推進

(3)試験研究の体系

環境に配慮した森林づくりの推進

多面的機能を発揮させる森林管理の推進

- 高性能林業機械を活用した低コスト作業システムの確立
- 森林吸収源計測事業
- 里山再生に向けた特用林産物生産技術の検討
- 琵琶湖の水源を守る森林づくりの検討

人工林の特性に配慮した森林整備の推進

- 列状間伐等の伐採跡地における植生の推移に関する調査
- 環境林植生経年調査

天然林の保全管理の推進

- ウツクシマツ遺伝子保存に関する研究

(4)試験研究の概要

区分	研究課題名	概要	担当
国 補	(造林) 高性能林業機械を活用 した低コスト作業シス テムの確立 (H20～H21)	間伐促進のために、平成18年度に本県で初めて高性能林業機械が導入された。今後、伐採現場における機械の稼働状況を調査し、本県の地形条件等にマッチした機械の組み合わせや現場作業の効率化、低コスト化を検討のうえ、高性能林業機械を活用した低コスト作業システムをまとめる。	吉川
	(造林)新規 列状間伐等の伐採跡地 における植生の推移に 関する調査 (H21～H22)	近年、高性能林業機械を活用した列状間伐の普及が進められている。しかし、列状間伐は相当程度の伐採幅があることから、その普及を図るためにその後の植生回復状況を把握し、今後の森林・林業施策の基礎資料として活用する。	西村
受 託	(機能保全) 森林吸収源計測事業 (H15～H22)	森林の炭素吸収量算出に必要な森林関連データについて、国際的に認知されうるレベルでの効率的かつ確実性の高い収集方法を開発し、これに沿って森林の炭素吸収量を計測する。	小島
	(機能保全)新規 里山再生に向けた特用 林産物生産技術の検討 (H21～H23)	県内の里山の多くを占めるマツ林やナラ林では、松くい虫やナラ枯れによる森林の荒廃が進み、森林の多面的機能の低下が危惧されている。このため、各種整備が進められているが、残されたマツ林やナラ林そのものの健全化を図る必要があり、これまで獲得してきた特用林産物の生産技術をより進め活用する方法を検討することにより里山の再生を図る。	太田
単 県	(育種) ウツクシマツ遺伝子保 存に関する研究 (H18～H23)	湖南省に自生する天然記念物のウツクシマツが、松くい虫被害により減少してきているため、遺伝形態の解明に取り組んできたが、12年度で見通しがついたことから、引き続いて松くい虫抵抗性ウツクシマツを作出する。	太田
新 税 対 応	(機能保全) 琵琶湖の水源を守る森 林づくりの検討 (H21～H24)	琵琶湖流域の森林が、琵琶湖に対しどのような水源かん養機能を有しているか科学的根拠に基づき、定量的に明らかにしてきた。その中で、新たに懸案となった「地質(花崗岩、古生層)に対応した人工林整備手法の検討」および「琵琶湖流域森林の栄養塩供給に対する定量的評価」を行うことにより、いろいろな森林施業を想定したより精密なシミュレーションを実施し、琵琶湖の水環境の面から森林施業を科学的に評価する。	小島
	(造林) 環境林植生経年調査 (H18～H21)	人工林を強度間伐により針広混交林へ誘導するために行われる環境林整備は、本県では新しい取り組みである。このため、強度間伐実施後の育林木や侵入植生などの生態系の動態調査を実施し、望ましい環境林整備を提言する。	吉川

6. 事業の概要

林木育種事業

生長や形質が優れ、気象害・病害虫に強い木を選抜して採種園をつくり、その種子を苗木生産者に供給しています。

また、採種園の母樹をさらに優れた品種にかえていくために、県内15箇所に次代検定林を設け遺伝的特性を調べてきました。

花粉の少ない森林づくり対策

スギ花粉による花粉症対策を推進するため、花粉の少ないスギ種子の生産供給の調査検討を行う。

7. 研修事業の概要

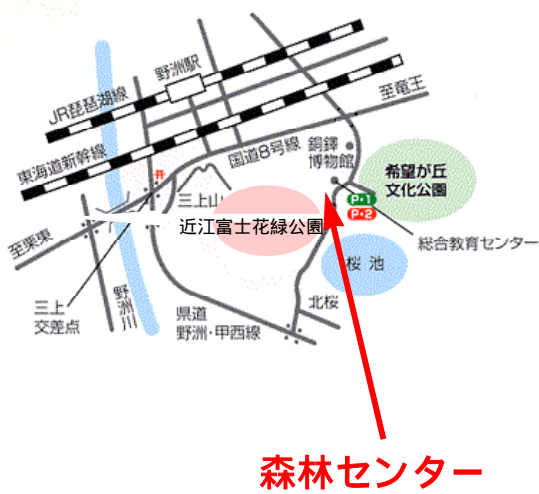
本県の林業従事者の技術向上及び林業後継者の育成を図るため、下記の研修目標に基づき研修を実施するとともに、県内行政機関および関連団体が実施する研修会等に講師として職員を派遣する。

区分	名称	備考
平成21年度研修	森林センター林業技術研修	4回開催
	市町林業担当職員研修	1回開催
	森林環境学習「やまのこ」事業教職員研修	5回開催
	森林環境学習「やまのこ」事業専任指導員研修	4回開催
平成21年度講座	森づくり県民講座（入門編、中級編、上級編）	計6回開催

8. おもな研究用機器

水文関係	デジタル雨量記録計
	ダブルビーム分光光度計
	フローロガーシステム
	樹液流測定装置
	PHメーター
	イオンメーター
特用林産関係	きのこ栽培施設
	プレハブ無菌培養室
	人工気象室
	高速液体クロマトグラフ
	ガスクロマトグラフ
	クリーンベンチ
	凍結乾燥機
	落射蛍光顕微鏡
	万能倒立顕微鏡
その他	土壌硬度計
	デジタル木材水分計
	デンプゲル泳動装置
	DNA解析装置

9. 森林センターの位置等



場内配置図



本館詳細図

